

背景(取り組むきっかけ)

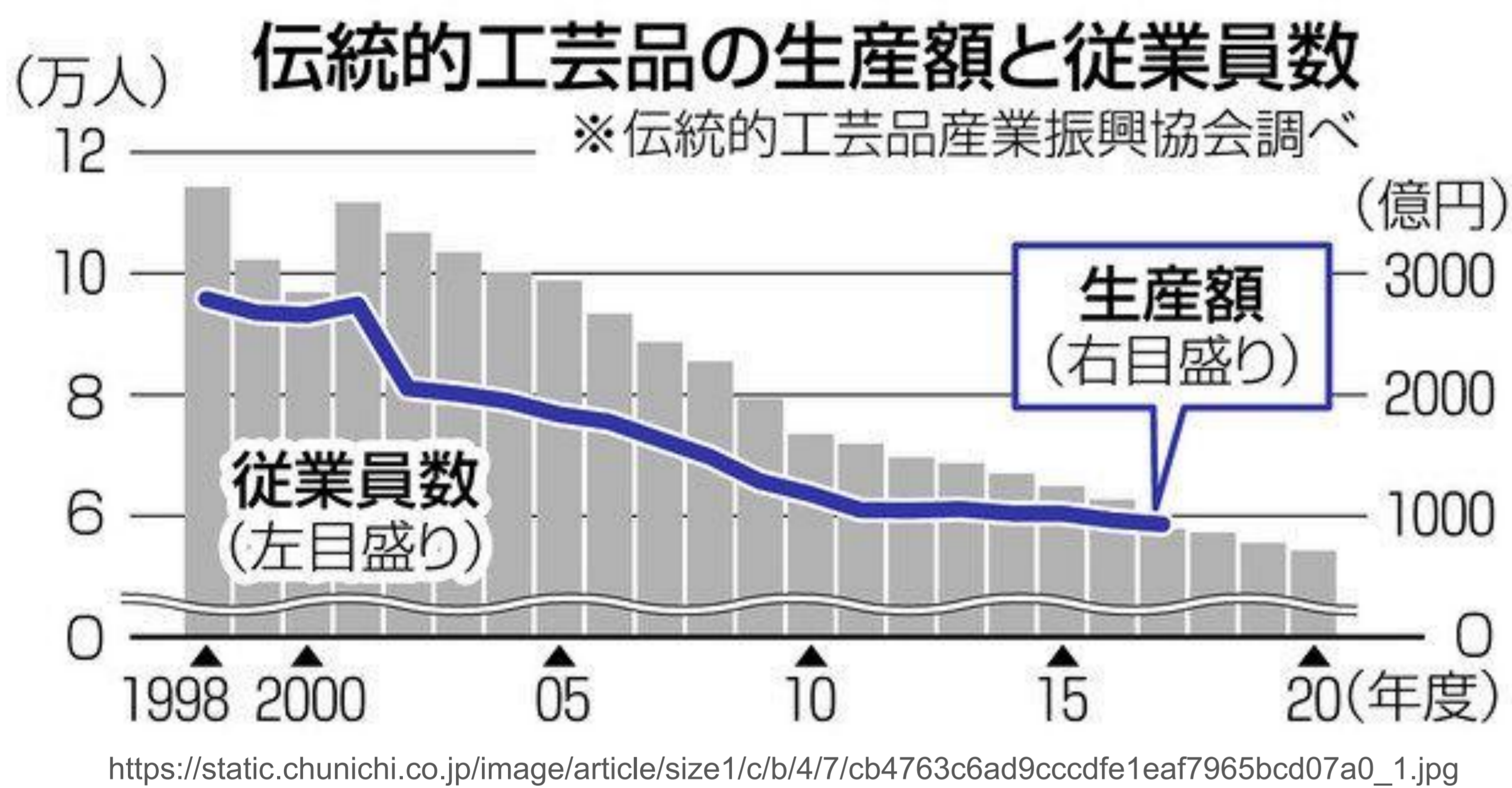
- ・地元の伝統工芸品への興味
- ・地元暮らしの人々に伝統工芸品の良さを知ってもらいたい

現状(課題の整理)

安価な日用品の普及による
輪島塗の需要低下と後継者不足



輪島塗の知名度を上げる
需要・後継者の確保



提案(解決策のアイデア)

能登地方の**小学校の手すり**に**輪島塗**を使用

<ターゲット層の選択>

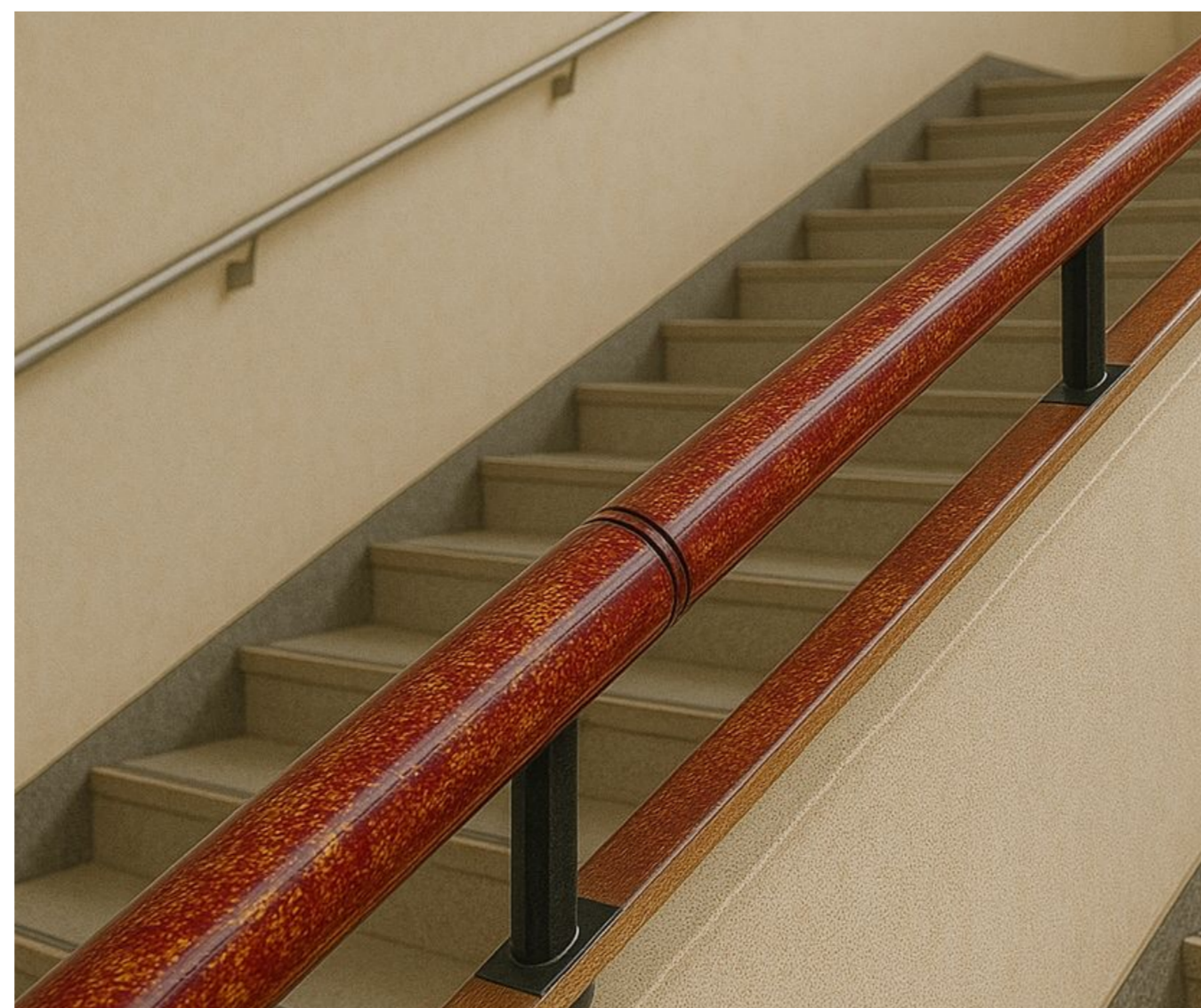
能登半島地震の影響で損壊した能登の小学校の
新校舎に輪島塗を組み込む

→子どもたちにとってより身近に

<輪島塗の良さを活かした製品>

階段の手すりを輪島塗に

→輪島塗の手触りや
堅牢さを活かす



※写真は
イメージ

連携(外部とのつながり)

企画する際に、【輪島塗ぬり工房 楽】の引持さん
にご指導いただきました。

取り組み(行動と成果)

- 輪島塗の手すりについて
 - ・短いもの(2m)であれば可能
 - 組み立て模型を作り、学校を巡回して体験してもらう
 - ・費用は数万円ほど(要相談)
 - ・制作期間は1~15年ほど(要相談)

- デザイン

- ・小学生の目を引くもの
 - カラフルなグラデーションにする



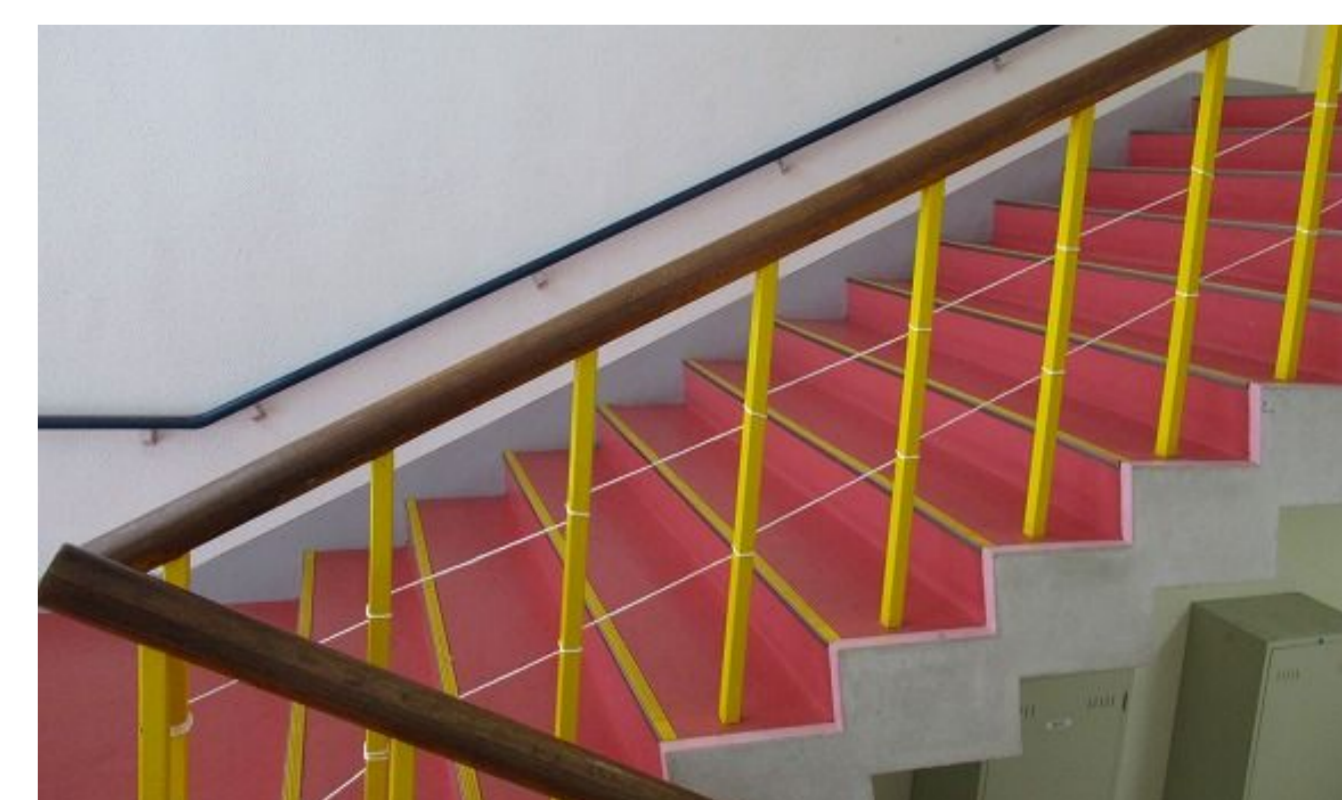
jhttps://www.wajimanuri.co.jp/wordpress/wp-content/uploads/2022/05/Blog14_0b.jpg

- 実現性

- ・ツヤが失われる
 - 定期的なメンテナンスで半永久的に使える
- ・輪島塗は紫外線に弱い
 - 紫外線に強い漆を使う

今後の展望

- ・デザインの深掘り
- ・小学校との連携(穴水に新しくできる予定の小学校での設置を検討中)



https://edu.city.oga.akita.jp/funaichi-es/wp-content/uploads/sites/9/2022/01/s-IMG_0299.jpg

引用 参考文献

【輪島塗ぬり工房 楽】

<https://raku-wajima.com/>

【田谷漆器店】

<https://www.wajimanuri.co.jp/entry/1670/>